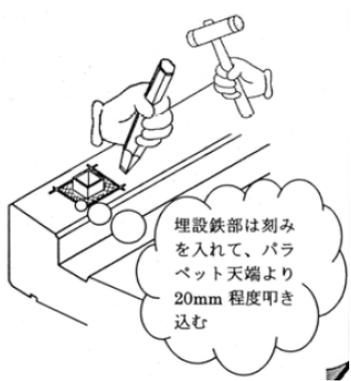


最終更新日 H25.3.1
改修技術 No. 11113301

性能分野	耐久性・耐用性
大分類	劣化部分の補修、外力の緩和
中分類	手摺改修
技術の名称	手摺改修工法
改修技術の概要	<p>・手摺が経年劣化や腐食劣化することによって、安全性の低減・美観の低下が起こる。そこで、手摺の改修を施すことで、安全性・耐候性・耐久性・強度の回復・向上を図る必要がある。</p> <p>主に湿式と乾式の工法があり、乾式の方が改修には適している。</p> <p>・既存手摺と新設手摺の支柱を同一箇所にできないため、ファザードデザインに変更が生じることについて、住民に合意を得ておく必要がある</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>既存手摺撤去</p> <p>↓</p> <p>アンカー部 取り付け</p> <p>↓</p> <p>周辺の充填・塗装・防 水処理</p> <p>↓</p> <p>アンカー打ち 手摺取り付け</p> <p>↓</p> <p>検査</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>埋設部回りのモルタルの除去を行い、鉄部はサンダーなどで切断する</p> <p>撤去・補修部分は避けてアンカー部を取り付ける</p> <p>アンカー周りを適切に（防水など）処理し、アンカーの引き抜き強度試験を行い、安全性を確認する。</p> <p>手摺を取り付け、検査を実施する。</p> <p>・工事期間 7～10日 (既存手摺撤去～検査)</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>既存手摺の撤去の例 (出典：標準設計仕様と施工指針 (2010) 建築改装協会)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>手摺の撤去</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>引き抜き強度試験</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>手摺の設置</p> </div> <p>(出典：マンション共用部改修工事&lt;事例集&gt;Vol12、(社) マンションリフォーム推進協議会)</p> <p>・改修後の性能 防水性・耐久性の回復・向上</p>

共同住宅のタイプごとの技術の適用	技術の種類	<input type="checkbox"/> 調査・診断技術 <input checked="" type="checkbox"/> 改修技術（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化を補修する技術 <input type="checkbox"/> 性能を向上させる技術）	
	共同住宅のタイプごとの適用可能性	S55年以前供給 中層階段室・壁式(総プロA1)	使われる可能性が相当ある
		S55年以前供給 高層・ラーメン(総プロA2)	使われる可能性が相当ある
		S56～H2年供給(総プロB)	使われる可能性が相当ある
		H3～12年供給(総プロC)	使われる可能性が相当ある
		H13年以降供給(総プロD)	使われる可能性が相当ある
(補足) —			
常にセットで利用される技術	—		
技術が適用される建物の部位	<input checked="" type="checkbox"/> 共用部分 ( <input type="checkbox"/> 躯体・外壁 <input type="checkbox"/> 屋根 <input checked="" type="checkbox"/> 建具 <input type="checkbox"/> 設備・配管等 <input type="checkbox"/> その他共用部 ) <input type="checkbox"/> 専有部分 ( <input type="checkbox"/> 設備・配管 <input type="checkbox"/> その他専有部分 ) [ 設置・運営等で建築基準法以外に注意すべき主な法令がある設備 ( ) <input type="checkbox"/> 注意すべき主な法令 ( ) ]		
団地で適用した場合のメリット	<input type="checkbox"/> 住棟まわりの土地が利用できること（仮設以外）( ) <input type="checkbox"/> まとまった土地が利用できること（仮設以外）( ) <input checked="" type="checkbox"/> 住宅の数が多く密度が高い（同一デザインの手摺を多数発注できること） <input type="checkbox"/> 特定の設備があること ( )		
足場の設置が必要	<input checked="" type="checkbox"/> 必要 <input type="checkbox"/> 不要 ( )		
工事による居住者への影響	数日以上居住できない住戸が発生	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当 ( )	
	一時的な影響が発生	<input type="checkbox"/> 断水などライフラインが一時的に利用不可 <input type="checkbox"/> 振動 <input checked="" type="checkbox"/> 騒音 <input checked="" type="checkbox"/> 粉塵 <input type="checkbox"/> 臭気 <input checked="" type="checkbox"/> その他専有部分又は専用使用部分に対する制限 (工事時は通行が制限される)	
	工事後に続く影響が発生	<input type="checkbox"/> 専有部分又は専用使用部分の使用に対する制限 ( ) <input type="checkbox"/> 日照・採光等への影響 ( )	
当該技術が利用される工事	<input checked="" type="checkbox"/> 計画修繕工事（ <input checked="" type="checkbox"/> 劣化の補修 <input type="checkbox"/> 性能の向上） <input type="checkbox"/> 耐震改修工事（ <input type="checkbox"/> 耐震性の向上 <input type="checkbox"/> 他の性能の向上）		
技術的境界	—		
参考資料	技術情報	—	
	価格情報	・「マンション Re」（一財）経済調査会	